



南三陸町長 佐藤 仁

新春を迎えて

～安らぎと賑わいのあるまちを創造するために～

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様には、輝かしい新春を健やかに迎えたいとお喜び申し上げます。日頃から町政運営の各般にわたり、ご理解とご協力を賜っておりますことに対しまして、厚く御礼を申し上げます。

昨年は、原油や穀物の高騰が、私たちの暮らしに大きな影響を与え、加えてアメリカのサブプライムローン問題や大手投資銀行の倒産などにより、世界の経済は未曾有の不況に陥り、国内の主要企業においては、大規模なリストラを断行するなど、今もって、厳しい経営を強いられているところでもあります。

当地域においても、原油高騰をはじめとしたこれらの経済環境の変化は、農林水産業、運輸業、商工業を中心とした地域経済活動に著しい影響を与えてまいりました。

町といたしましても、このような厳しい

経営環境の改善に向け、国、県に対して経済対策への積極的な取り組みをあらゆる機会を通じてまいりましたところであり、加えて、町単独の事業としても可能な限りの支援対策を講じてまいりました。一日も早く景気が持ち直し、当地域の経済が好転するよう引き続き努力してまいりたいと考えております。

さて、南三陸町誕生から三年を経過いたしました。この間、新町の基盤づくりは、新町建設計画や一昨年策定いたしました南三陸町総合計画を基本に緊急性や優先性の高い事業を主体に進めてまいりました。同時に安定した行政サービスの提供に向け、行財政改革にも積極的に取り組んできたところでもあります。

厳しい行財政環境の中、各種施策が着実に実行できますことは、町民皆様の暖かいご理解とご協力の賜物であり、本年も引き続き新たな行政施策を積極的に展開しながら成熟したまちづくりのため鋭意努力をしてまいりたいと考えております。

昨年には仙台・宮城デスティネーションキャンペーンが実施され、ネットワークの広がりや観光立町としての基盤づくりに大きな成果があった一年でありました。引き続き、都市部との人的、物的交流を進め、「南三陸町ブランド」確立に向けた各種事業を積極的に展開してまいりたいと考えております。

南三陸町を取り巻く行財政環境は、非常に厳しいものがありますが、町民の目線に立った町政運営を念頭に、議会をはじめ、町民皆様のご理解とご協力をいただきながら、南三陸町に「住んでよかった」、「住んでみたい」と思っていただけのようなまちづくりに向け、全力を傾注し、取り組んでまいりたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

輝かしい平成二十一年が、町民皆様にとりまして、より良い年になりますことを心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。



南三陸町議会議長 後藤 清喜

新たなまちづくりへの決意

町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。平成二十一年の新春をお健やかに迎えられることができましたこと、心からお慶び申し上げます。

「光陰矢のごとし」と申しますが、早いもので、南三陸町誕生から四回目の新春を迎え、これまで町政の進展と議会の円滑な運営、活性化に精力を傾注し、議会活動に専念してまいりました。この間、町民皆様から寄せられました温かいご指導やご厚情に対し心からお礼申し上げます。

行財政改革が強力に進められている今日、私どもも、議会行財政改革に関する特別委員会の中でいろいろ議論を重ねてまいりました。特にも昨年は、最終的に住民懇談会を開催して町民皆様方からの意見をお聞きし、十二月定例会において、二十二人の議員定数を十六人に削減する

決定をいたしました。本年の改選時から適用となり、住民の付託に応えるべく、町政推進に最大の努力を傾注してまいり所存であります。

今後とも議会制度や組織の見直し等の改革にも取り組んでまいりますので、議会に対するご意見も含めて、住民皆様の忌憚のないご意見をいただきたいと存じます。

一方、社会情勢に目を転じますと、昨年来より、痛ましい事件が連日のように報道され、生命の尊厳性、喪失極まりの感があり、広く教育や道徳のあり方が問われるところでもあります。

加えて、世界的な金融危機の影響で、景気の下押し圧力が一段と強まり、このところの非正規社員的大幅な人員削減などは、住民の生活までもを圧迫し深刻な様相を呈しております。

明るく希望に満ちた新年を迎え心機一

転、このような暗い状況を払拭するためには、まちづくりにおける議会と執行部の両輪を、さらに強く前に推し進め、逆境を乗り越えることが必要不可欠であると意を新たにしているところでございます。

住民皆様のまちづくりに対する熱い想いと情熱の付託を受けた我々は、議会議員として何が必要なのかを的確に捉え即断即決により議会としての責務を果たし、住みよい町づくりのため議員一丸となつて鋭意努力して参りますので、なお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成二十一年も町民一人ひとりが最良の年となりますようお祈り申し上げます。議会を代表して年頭に当たりましてのご挨拶といたします。

町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。平成二十一年の新春をお健やかに迎えられることができましたこと、心からお慶び申し上げます。

「光陰矢のごとし」と申しますが、早いもので、南三陸町誕生から四回目の新春を迎え、これまで町政の進展と議会の円滑な運営、活性化に精力を傾注し、議会活動に専念してまいりました。この間、町民皆様から寄せられました温かいご指導やご厚情に対し心からお礼申し上げます。

行財政改革が強力に進められている今日、私どもも、議会行財政改革に関する特別委員会の中でいろいろ議論を重ねてまいりました。特にも昨年は、最終的に住民懇談会を開催して町民皆様方からの意見をお聞きし、十二月定例会において、二十二人の議員定数を十六人に削減する

決定をいたしました。本年の改選時から適用となり、住民の付託に応えるべく、町政推進に最大の努力を傾注してまいり所存であります。

今後とも議会制度や組織の見直し等の改革にも取り組んでまいりますので、議会に対するご意見も含めて、住民皆様の忌憚のないご意見をいただきたいと存じます。

一方、社会情勢に目を転じますと、昨年来より、痛ましい事件が連日のように報道され、生命の尊厳性、喪失極まりの感があり、広く教育や道徳のあり方が問われるところでもあります。

加えて、世界的な金融危機の影響で、景気の下押し圧力が一段と強まり、このところの非正規社員的大幅な人員削減などは、住民の生活までもを圧迫し深刻な様相を呈しております。

明るく希望に満ちた新年を迎え心機一

転、このような暗い状況を払拭するためには、まちづくりにおける議会と執行部の両輪を、さらに強く前に推し進め、逆境を乗り越えることが必要不可欠であると意を新たにしているところでございます。

住民皆様のまちづくりに対する熱い想いと情熱の付託を受けた我々は、議会議員として何が必要なのかを的確に捉え即断即決により議会としての責務を果たし、住みよい町づくりのため議員一丸となつて鋭意努力して参りますので、なお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成二十一年も町民一人ひとりが最良の年となりますようお祈り申し上げます。議会を代表して年頭に当たりましてのご挨拶といたします。